巻 末 資 料

8－1　外観四面図…… 62
■Ｅ－ＫＹ３型(セダン ２ドア) …… 62

8－2　性能曲線図
〔1〕 エンジン全開性能曲線図

〔2〕 走行性能曲線図 …… 63

8－3　主要諸元表
■Ｅ－ＫＹ３型 …… 64

8－4　明細諸元表…… 65

8－5　装備仕様一覧表 …… 70

8－6　内外装色展開表 …… 71

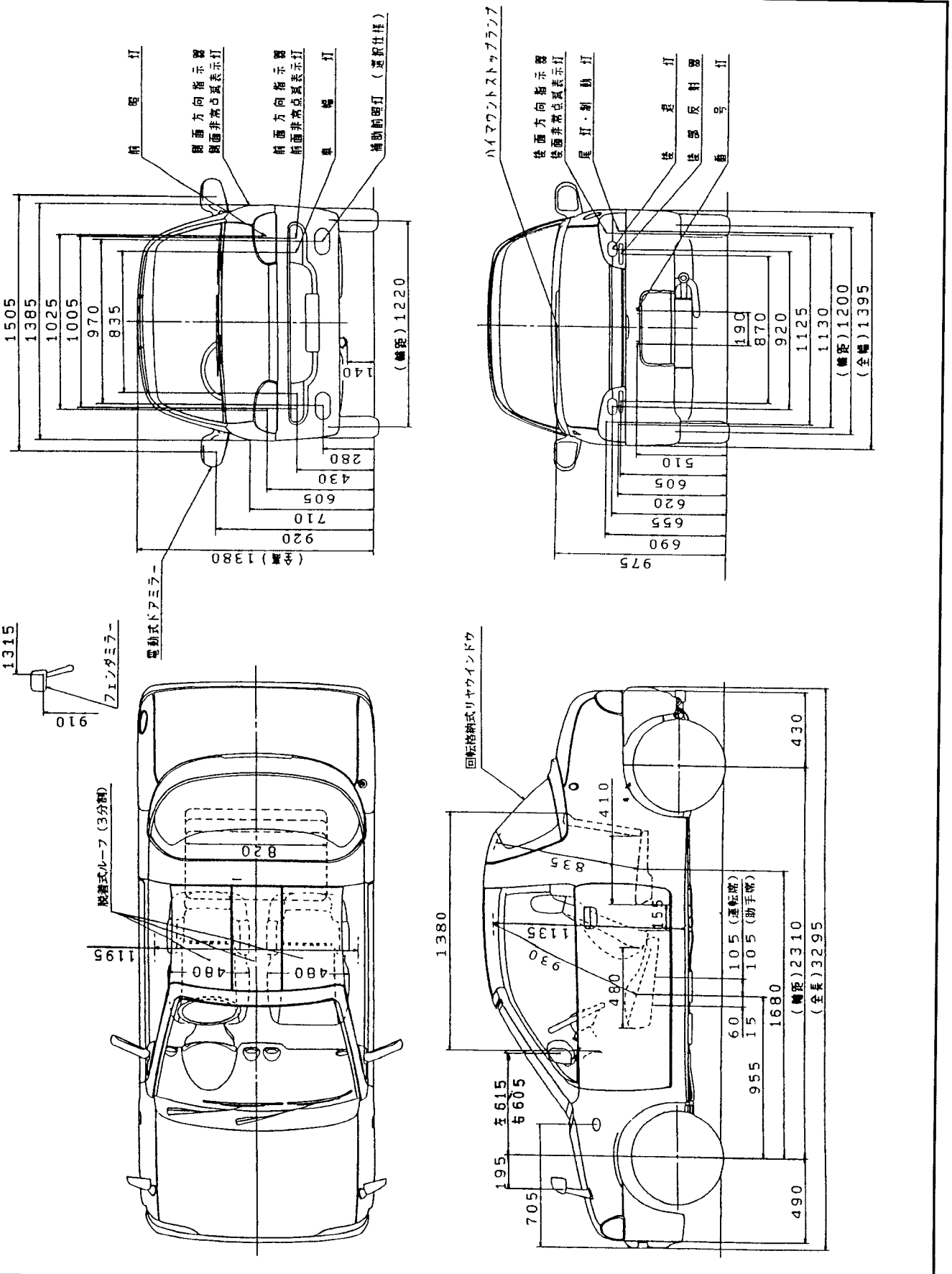
8－7　点検整備方式 …… 72

8

8－1　外観四面図

■ セダン 2WD E－KY3型

2ドア車

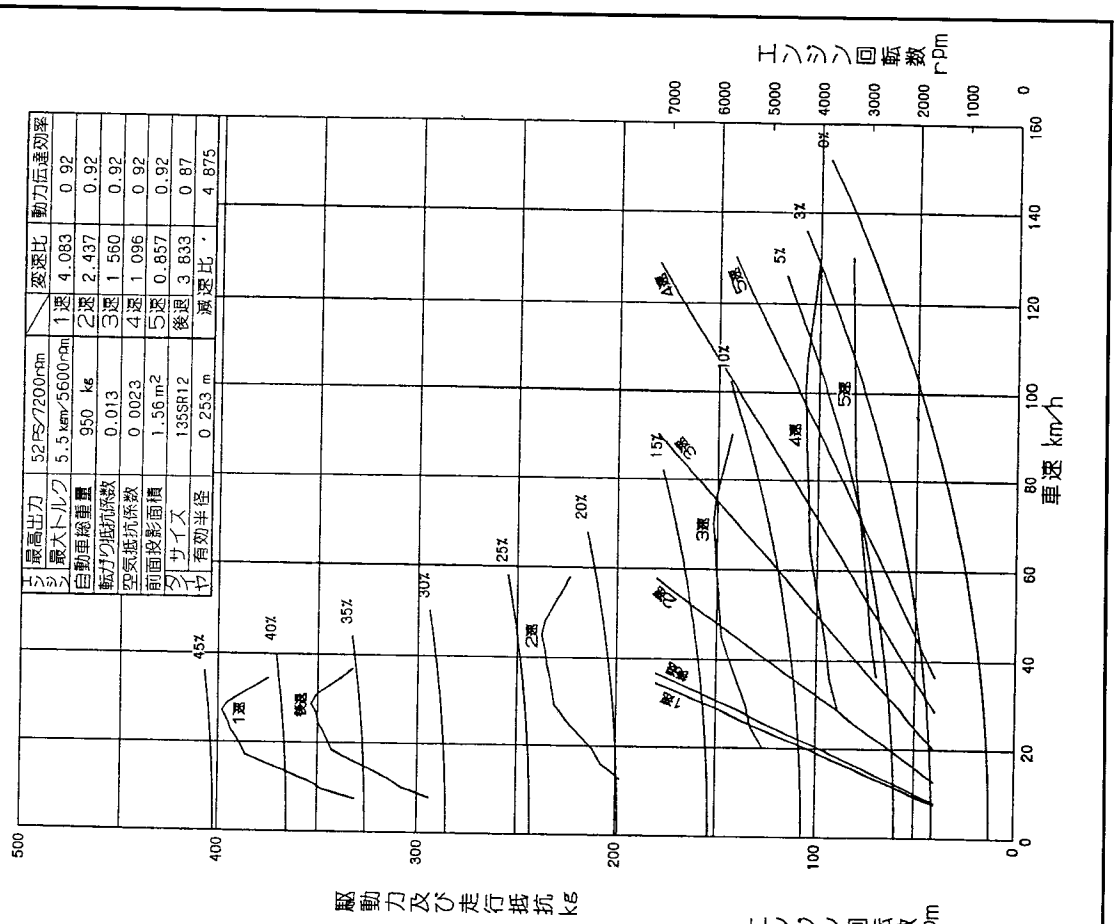


〔2〕 走行性能曲線図

〔1〕 エンジン全開性能曲線図はＥ－ＫＫ３車と同じ。

■ E－KY3 5MT NA EMPi車（類別010）

本図は類別 010 を示す

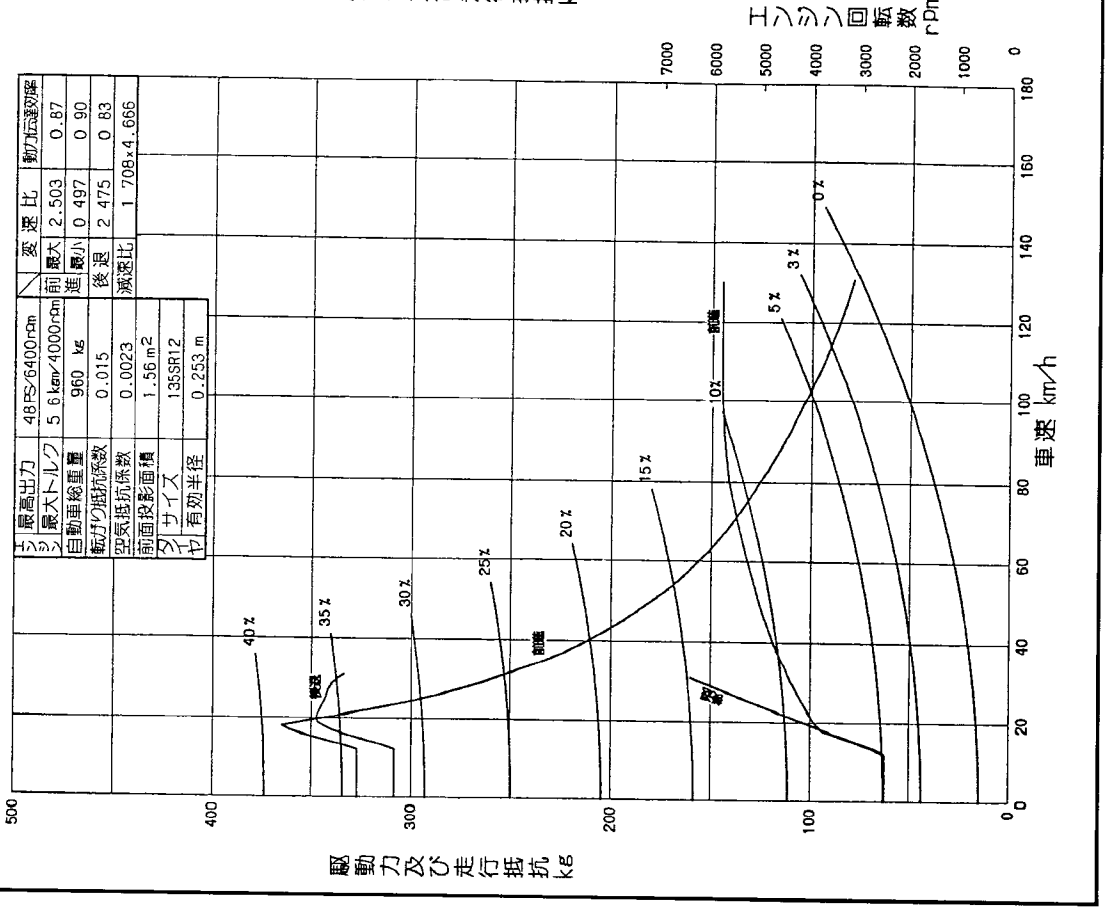


エンジン	最高出力	52PS/7200rpm
	最大トルク	5.5kgm/5600rpm
自動車総重量		950 kg
転がり抵抗係数		0.013
空気抵抗係数		0.0023
前面投影面積		1.56m²
タイヤ	サイズ	135SR12
	有効半径	0.253 m

	変速比	動力伝達効率
1速	4.083	0.92
2速	2.437	0.92
3速	1.560	0.92
4速	1.096	0.92
5速	0.857	0.92
後退	3.833	0.87
減速比		4.875

■ E－KY3 ECVT NA EMPi車（類別020）

本図は類別 020 を示す



エンジン	最高出力	48PS/6400rpm
	最大トルク	5.6kgm/4000rpm
自動車総重量		960 kg
転がり抵抗係数		0.015
空気抵抗係数		0.0023
前面投影面積		1.56m²
タイヤ	サイズ	135SR12
	有効半径	0.253 m

		変速比	動力伝達効率
前進	最大	2.503	0.87
	最小	0.497	0.90
後退		2.475	0.83
減速比		1.708×4.666	

8－3　主要諸元表

■ E－KY3

指定番号	類別区分番号		010	020	／	／
7261	仕様		2ドア SOHC エアコン パワーステアリング	2ドア SOHC ECVT エアコン パワーステアリング	／	／
指定年月日						
平成5年1月18日						
変更承認年月日						
／						
車名及び型式						
スバル E－KY3	長さ m		3.295	←	／	／
車台の名称及び型式	幅 m		1.395	←	／	／
スバル KY3	高さ m		1.380	←	／	／
車体の名称及び型式	輪距 m	前輪	1.220	←	／	／
／		後輪	1.200	←	／	／
製作者等の氏名又は名称	室内の寸法 m	長さ	1.380	←	／	／
富士重工業株式会社		幅	1.195	←	／	／
自動車の種別		高さ	1.135	←	／	／
軽（4輪）	車両重量 Kg	前軸重	450	460	／	／
用途		後軸重	280	←	／	／
乗用		計	730	740	／	／
車体の形状	乗車定員 人		4	←	／	／
箱型	車両総重量 Kg	前軸重	545	555	／	／
軸距 m		後軸重	405	←	／	／
2.310		計	950	960	／	／
燃料の種類	最大安定傾斜角度	左	49	←	／	／
ガソリン		右	49	←	／	／
原動機の型式	車輪配列		2D－2	←	／	／
EN07	タイヤ	前輪	135SR12. 145／70R12 69S 155／70R12 73S		／	／
総排気量又は定格出力 ℓ 又は kw		後輪				
0.658						

備考	＼	打刻様式	打刻位置	打刻方法
	車台	KY3－001201	フロントバルクヘッド右側前面	黒皮のまま
	原動機	EN07	クランクケース上面	削正の上
	通称名	ヴィヴィオ　T－TOP		
	旅客運送事業用自動車の適否	否　（2扉）		
	注. ECVT：自動無段変速機を示す。			

8－4　明細諸元表―E－KY3

最低地上高 m			0.140
性能	最高速度 km/h		130（推定）
	燃料消費率 km／ℓ	定地	30.3（60km/h）[mpi MT車] 26.8（60km/h）[mpi ECVT車]
		10・15モード	19.6 [mpi MT車] 18.8 [mpi ECVT車]
	制動停止距離 m（初速 km／h）		14.0（50）
	最小回転半径 m		4.5 [mpi 車]
原動	製作者名		富士重工業株式会社
	取付位置		前
	始動方式		セルフ式
	種類		ガソリン・4サイクル
	シリンダ数及び配置		直4横置
	燃焼室形式		ペントルーフ形
	弁機構		SOHC ベルト駆動
	内径×行程 mm		56.0×66.8
	圧縮比		10.0 [mpi 車]
	圧縮圧力 kg／cm－rpm		11.5-300 [mpi 車]
	最高出力 PS/rpm		52/7,200（ネット）[mpi MT車] 48/6,400（ネット）[mpi ECVT車]
	最大トルク kgm/rpm		5.5/5,600（ネット）[mpi MT車] 5.6/4,000（ネット）[mpi ECVT車]
	燃料消費率 g/PS・h（全負荷）（rpm）		215（4,000）[mpi MT車] 210（4,000）[mpi ECVT車]
	寸法 mm		長さ 幅 高さ 570× 480×655 [mpi 車]
	弁又はポート開閉時期 吸気	開き	BTDC10 [mpi 車]
		閉じ	ABDC50 [mpi 車]
	排気	開き	BBDC46
		閉じ	ATDC18 [mpi MT車] ATDC14 [上記以外]
	掃気	開き	／
		閉じ	／
	弁すきま mm	吸気	0.15（冷間）
		排気	0.20（冷間）
	無負荷回転速度 rpm		800 [mpi MT車] 900（Nレンジ）[mpi ECVT車]
	潤滑装置 潤滑方式		圧送式
	油ポンプ形式		トロコイド式
	油ろ過器形式		全流ろ過式 ろ紙式
	潤滑油容量 ℓ		2.7
	油冷却器形式		／

機	冷却装置 冷却方式		水冷電動式
	放熱器形式		コルゲート形（圧力式）
	冷却水容量 ℓ		3
	水ポンプ形式		遠心式 ベルト
	サーモスタット形式		ワックス式
	過給機形式		／
	給気冷却器形式		／
燃料装置	空気清浄器	形式	ろ紙式
		数	1
	燃料タンク 材質		鋼
	容量 ℓ		32
	位置		後席床下
	燃料パイプの材質		鋼管、ゴム
	燃料ポンプ形式		電動式
	燃料ろ過器形式		ろ紙式
	気化器 型式		／
	ガス弁径 mm		／
	ベンチュリ径 mm		／
	空気弁形式		／
	燃料噴射装置形式		電子式
	噴射ポンプ 形式		／
	噴射時期		／
	プランジャ径 mm		／
	カム揚程 mm		／
	調速機形式		／
	噴射時期加減装置形式		／
	噴射ノズル ノズル形式		電磁式 4
	噴口	数	1
		径 mm	0.80
	噴射圧力 kg／cm		2 [mpi 車]
	液化石油ガス装置 充填口形式		／
	過充填防止装置形式		／
	安全弁形式		／
	主止弁形式		／
	減圧装置形式		／
電気装置	電圧 V		12 －アース
	点火装置 形式		フル・トランジスタ式 バッテリ点火
	点火時期		BTDC°/rpm 10／900 [mpi ECVT車] 10／800 [上記以外]
	断続器形式		無接点式
	点火早め装置の形式及び性能		電子式 進角2－進角23° [mpi 車] （配電器軸角相当）
	点火プラグ	型式	BKR6E-11 K20PR-U11 [mpi 車] BKR5E-11 K16PR-U11
		点火すきま mm	1.0～1.1 [mpi 車]

注. mpi：自然吸気の燃料噴射方式

明細諸元表—E—KY3

電気装置	予熱プラグ	形式	／
		電圧V・電流A	／
	蓄電池容量 Ah		28(5)
	充電発電機	形式	交流式
		出力 V−A	12−45
		電圧電流調整器形式	IC式
	電波雑音防止装置形式		抵抗線式 抵抗入りプラグ式
動力伝達装置	機関から変速機までの機構		機関−クラッチ−変速機
	機関から変速機までの減速比		1.000
	クラッチ	形式	乾単板ダイヤフラム式 [MT車] 電磁式 [ECVT車]
		操作方式	機械式 [MT車] 電気式 [ECVT車]
		フェーシング 寸法 ■■	160×110×3.5又は 160×110×2.0 [MT車]
		フェーシング 面積cm²及び枚数	106又は45 [MT車]
		フェーシング 材質	ウーブン又は焼結合金 [MT車]
		クラッチの液量 ℓ	／
		倍力装置形式	／
	変速機	形式	前進 常時噛合式 後退 選択摺動式 前進 ベルト式 後退 常時噛合式 [ECVT車]
		操作方式	フロア・チェンジ式
		変速比 一速	4.083(シンクロ)[MT車] 2.503 ～ 0.497 [ECVT車]
		変速比 二速	2.437(シンクロ)[MT車]
		変速比 三速	1.560(シンクロ)[MT車]
		変速比 四速	1.096(シンクロ)[MT車]
		変速比 五速	0.857(シンクロ)[MT車]
		変速比 六速	／
		変速比 後退	3.833 [MT車] 2.475 [ECVT車]
	副変速機	形式	／
		操作方式	／
		変速比 高	／
		変速比 低	／
	推進軸の長さ・外径・内径 ■■	第一	／
		第二	／
	減速機 第一	歯車形式	はすば歯車
		減速比	4.875 [■pi MT車] 1.708 [■pi ECVT車]
	減速機 第二	歯車形式	はすば歯車 [ECVT車]
		減速比	4.666 [ECVT車]

走行装置	差動機	歯車形式及び数	すぐばかさ歯車 大2・小2
		差動制限装置形式	／
	分配機	形式	／
		減速比	／
	変向機	形式	／
		減速比	／
	前車軸	形式	ストラット式
		トーイン ■■	0
		キャンバ度	15′ [■pi 車]
		キャスタ度	3°20′
		キングピン角度	13°10′
		トレール ■■	／
	後車軸	形式	ストラット式
		トーイン ■■	0
		キャンバ度	−40′
	タイヤのリム	前輪	鋼又は軽合金 12×4.00B (135SR12,145/70R12, 155/70R12 用) 鋼 12×3.500B (135SR12 用)
		後輪	鋼又は軽合金 12×4.00B (135SR12,145/70R12, 155/70R12 用) 鋼 12×3.500B (135SR12 用)
	タイヤの形式	前輪	チューブ有又は無
		後輪	チューブ有又は無
	タイヤの空気圧 kg/cm²	前輪	2.0 (155/70R12) 2.1 (135SR12.145/70R12)
		後輪	2.0 (155/65R13.155/70R12) 2.1 (135SR12.145/70R12)
かじ取り装置	ハンドル	位置	右
		外径 ■■	360又は370
		最大回転数	3.3 [■pi 車]
		軸及び継手形式	コラプシブル式
	歯車	形式	ラック・ピニオン式
		歯車比	∞
	かじ取り角度	内側	39° [■pi 車]
		外側	33° [■pi 車]
	倍力装置	形式	インテグラル式 [パワステ車]
		油の種類	トルコン油 [パワステ車]
施錠装置	形式		ステアリング・ロック
	取付位置		ステアリング・コラム
制動装置	主ブレーキ	形式	油圧式 前 ディスク 後 リーデイング・トレーリング
		作動系統及び制動車輪	2−前2輪 後2輪制動
		ライニング又はパッドの寸法 ■■ 前輪	88.0×33.0×9.0
		ライニング又はパッドの寸法 ■■ 後輪	173.0×25.0×3.9
		ライニング又はパッドの面積 cm² 前輪	29×2枚×2輪
		ライニング又はパッドの面積 cm² 後輪	43×2枚×2輪

注. ■pi：自然吸気の燃料噴射方式

制動装置	主ブレーキ	ブレーキの胴径又はディスク有効径 mm	前輪	176 [mpi 車]
			後輪	180
		ライニング又はパッドの材質		レジン・モールド（非石綿材）
		マスタ・シリンダ又はブレーキ弁の形式		タンデム形
		マスタ・シリンダ内径 mm		20．6
		サプライ・タンク形式		一体形 14 ＋ 12 ＋ 94（前輪）（後輪）（共用）
		ホイール・シリンダの内径又はブレーキ室膜板径 mm	前輪	51．1
			後輪	14．2 [mpi 車]
		制動倍力装置	形式	真空倍力式
			倍率	4．6（踏力13.8kg）
		ブレ・ーパイプ	材質	二重巻鋼管
			防腐処理	外面 Znメッキ＋テフロンコーティング 内面 Cuメッキ
		ブレーキ・ホース材質		内外層耐油性ゴム 合成繊維コード2層 JIS 1種
		ブレーキ液品質		JIS K2233 3種
		制動力 kg（踏力 kg）		532(12)/0.5g[mpi 車]
		制動力制御装置形式		／
		制動警報装置の形式及び性能	検出部	液面レベル式 48ml
			表示部	灯火式 1，4W
	駐車ブレーキ	形式		機械式車輪制動形
		制動車輪		後輪
		ライニング又はパッド	寸法 mm	173．0×25．0×3．9
			面積 cm²	43×2枚×2輪
			材質	レジン・モールド（非石綿材）
		ブレーキの胴径又はディスク有効径 mm		180
		制動力 kg（操作力 kg）		206（17）/0.2g
緩衝装置	前輪	懸架方式		ストラット式
		ばね形式		コイルばね
		主ばね寸法 mm		右 9×85×307－6.8 左 9×85×301－6.2 [mpi 車]
		補助ばね寸法 mm		／
	後輪	懸架方式		ストラット式
		ばね形式		コイルばね
		主ばね寸法 mm		10×100～130×230－3.3 [mpi 車]
		補助ばね寸法 mm		／
		ショック・アブソーバ形式	前輪	筒形 複動式
			後輪	筒形 複動式
		スタビライザ形式	前輪	トーション・バー式 [mpi 車は有又は無]
			後輪	／
車わく		形式		フレームレス
		断面形状		／
		寸法 mm		／
乗車装置		座席形式		前セパレート式 後ベンチ式
		座席ベルト取付装置	形式	前二種 後二種
			数	前2 後2
		座席ベルト	形式	前二種ELR 後二種ELR
			数	前2 後2
		頭部後傾抑止装置	形式	前 シートバック差し込み式
			数	前2
		空調装置の形式		温水式暖房・直結冷房
		乗降扉の形式		開戸2 クロー・ラッチ式
ガラス		前面ガラス	種類	合わせガラス
			厚さ mm	4．7又は5．0
		前面ガラス以外のガラス	種類	側面－強化ガラス 後面－強化ガラス（熱線有）
			厚さ mm	5．0（側面） 4．0（後面）
騒音防止装置		消音器 型式		主 MMKC1 [mpi 車] 副 PMKC1
		消音器 個数		主1 副2
		騒音ホン	排気	85（近接）[mpi ECVT車] 87（近接）[上記以外]
			加速	76
			定常	66
排出ガス発散防止装置		ブローバイ・ガス還元装置形式		シールド式
		燃料蒸発ガス抑止装置形式		キャニスタ方式
		触媒形式		三元触媒（モノリス）
		その他の装置の形式		エンジン・モディフィケーション

注．mpi：自然吸気の燃料噴射方式

明細諸元表——E－KY3

排出ガス発散防止装置	排気管開口部の位置及び向き		車体後部右側 左右0°		
	排出ガス重量g又は排出ガス濃度%若しくはppm	無負荷状態	CO 1.5	HC 1000	
		10・15モード	CO 1.80	HC 0.19	NOx 0.24
		11モード	CO 55.0	HC 6.00	NOx 4.20
		無負荷急加速黒煙	／		
		3モード黒煙	／		
	警報装置 表示部形式		灯火式		
	警報装置 検出部	形式	ヒュース式		
		個数	1		
		取付位置	触媒後方		
		作動温度	900±50℃		
灯火装置	前照灯	型式	ICHIKOH 1471 (JIS)		
		個数、色及び性能	2、白色、60／55W		
	補助前照灯	型式	IPF 8511 (JIS)		
		個数、色及び性能	2、白色又は淡黄色、55W（有又は無）		
	車幅灯	型式	ICHIKOH 3342 (JIS)		
		個数、色及び性能	2、橙色、5W、31㎠		
	番号灯	型式	OEW 723 (JIS)		
		個数及び性能	2、5W		
	尾灯	型式	OEW 2149 (JIS)		
		個数及び性能	2、5W、64㎠ 制動灯と兼用		
	駐車灯	前面 型式	／		
		前面 個数、色及び性能	／		
		後面 型式	／		
		後面 個数及び性能	／		
	制動灯	型式	別紙		
		個数及び性能			
	後退灯	型式	OEW 2149 (JIS)		
		個数、色及び性能	2、白色、21W		
	方向指示器	フラッシャ形式	電子式 負荷変化時点滅回数変化有 パイロット・ランプ式 音響式		
		前面 型式	別紙		
		前面 個数及び性能			
		後面 型式	OEW 2149 (JIS)		
		後面 個数及び性能	2、21W、59㎠、85±15回／分 後面非常点滅表示灯と兼用		
		側面 型式	OEW 2155 (JIS)		
		側面 個数及び性能	2、5W、正面22㎠、前45° 18㎠ 後45° 15㎠、85±15回／分 側面非常点滅表示灯と兼用		
		補助 型式	／		
		補助 個数及び性能	／		
等	非常点滅表示灯	前面 型式	別紙		
		前面 個数及び性能			
		後面 型式	OEW 2149 (JIS)		
		後面 個数及び性能	2、21W、59㎠、85±15回／分 後面方向指示器と兼用		
		側面 型式	OEW 2155 (JIS)		
		側面 個数及び性能	2、5W、22㎠、85±15回／分 側面方向指示器と兼用		
	後反射部器	型式	OEW R2149 (JIS) ㊀R－966		
		個数及び性能	2、27.3㎠		
警報装置	警音器	型式	86011KC00		
		個数及び性能	1 平型 電気式 95～110ホン		
	非常用信号具	形式	発炎筒		
		個数及び性能	1、5分		
視野確保装置	後写鏡	左 形式	可倒式		
		左 寸法及び曲率半径 mm	楕円形80×123 1000（フェンダ） 角形 100×150 1400 （ドア）		
		右 形式	可倒式		
		右 寸法及び曲率半径 mm	楕円形80×123 1000（フェンダ） 角形 100×150 1400 （ドア）		
		室内 形式	脱落式又は防眩脱落式		
		室内 寸法及び曲率半径 mm	角形58×211 平面（脱落式）又は 角形59×219 平面（防眩脱落式）		
	窓拭器の個数及び性能		2 68回／分 5,310㎠		
	洗浄液噴射装置の個数及び性能		2、140ml／10秒 1.1ℓ		
	デフロスタの形式		温水式 サイド・デフロスタ有		
計器	速度計	型式	NS－R110－D [mpi 車]		
		形式	変速機 渦電流式		
		性能	±2km/h 0～140km/h		
	走行距離計の形式		変速機 ギヤ式		
前照灯点灯表示灯			青色 、 1.4W		
追越合図装置			有		
キー・インタロック付シフトロック装置			有 [ECVT車]		
シフト・レバー後退位置警報装置			有 [ECVT車]		

注. mpi：自然吸気の燃料噴射方式

灯火装置等	制動灯	型式		OEW 2149 （JIS） KOITO 286-20560 ［ハイマウントストップランプ］
		個数及び性能		2、21W、64㎠ 尾灯と兼用 1、5W、35cd、32㎠ （LED、56個） （有又は無） ［ハイマウントストップランプ］
	方向指示器	前面	型式	ICHIKOH 3342（JIS）
			個数及び性能	2、21W、46㎠、85±15回／分 前面非常点滅表示灯と兼用
	非常点滅表示灯	前面	型式	ICHIKOH 3342（JIS）
			個数及び性能	2、21W、46㎠、85±15回／分 前面方向指示器と兼用

注. mpi：自然吸気の燃料噴射方式

8－5　装備仕様一覧表

部位	項目	スバルE－KY3 2WD	
エンジン		NA-SOHC	NA-SOHC
トランスミッション		5MT	ECVT
外装	ハロゲンヘッドライト	○	○
	3分割脱着式ルーフ	○	○
	電動回転格納式リヤウインドゥ	○	○
	カラードドアミラー/ドアハンドル	○	○
	電動リモコンドアミラー	○	○
	ブルーガラス	○	○
	リヤウインドゥ/デフッガ	○	○
	フルホイールキャップ	○	○
	リヤアンテナ	○	○
運転席まわり	ドリップカウンター	○	○
	ECVTセレクトインジケータ	—	○
	空調コントロール透過照明	○	○
	間欠ワイパー	○	○
	アナログ時計	○	○
	アクセサリーソケット	○	○
快適装備	エアコン	○	○
	パワーステアリング	○	○
	パワーウインドゥ	○	○
シート	シート材質	ファブリック	ファブリック
	フロントシート形状	ハイサポート	ハイサポート
内装	成形ドアトリム(クロスアクセット付)	○	○
	フルトリム内装	○	○
	フロントピラートリム	○	○

部位	項目	スバルE－KY3 2WD	
内装	フロアカーペット	○	○
	ルームランプ(運転席ドア連動)	○	○
	フューエルリッドオープナー	○	○
	サンバイザ(運転席チケットホルダ付)	○	○
	グローブボックス	○	○
	フロントドアポケット(運転席側)	○	○
タイヤ&機構	フロントディスクブレーキ	○	○
	リヤドラムブレーキ	○	○
	6″ ブレーキ倍力装置	○	○
	135 SR 12ラジアルタイヤ	○	○
	スペアタイヤ 105/90D12	○	○
	ホイール スチール 12″ (3.50B)	○	○
	フルホイールキャップ	○	○
安全装備	フロント合せガラス	○	○
	衝撃吸収パッド付ウレタンステアリングホイール	○	○
	フロント3点式ELRシートベルト(運転席ウェービングランプ付)	○	○
	フロントシート一体シートベルトアンカ	○	○
	リヤシートベルト(3点式ELR)	○	○
	運転席シートベルト未装着警報ランプ	○	○
	ハイマウントストップランプ(LED)	○	○
	サイドドアビーム	○	○
	キー抜き忘れ警報ブザー	○	○
	ロールオーバーバルブ	○	○
	ネジ式フィラーキャップ	○	○
	シフトロックSYS	—	○

8－6　内外装色展開表

外装色は VIVIO で展開中のヴィヴィアンレッドに加えて新色を１色Ｔ－Top専用に開発し計２色の展開とした。

フィールドグリーン	爽やかな風と 太陽が似合う色
ヴィヴィアンレッド	ＶＩＶＩＯ　ＲＸ－Ｒで人気の 高い躍動感溢れる色

車種 ＼ 内外装色				外装色	
				色コード	
				３８３	９３６
ボデー	車両型式	駆動方式	エンジン＆ミッション	新色 フィールドグリーン	ヴィヴィアンレッド
セダン 2ドア	Ｅ－ＫＹ３	２ＷＤ	ＮＡ ５ＭＴ	○	○
			ＮＡ ＥＣＶＴ	○	○

内装色　○：グレー

8－7　点検整備方式

■ E－KY3

車　名	スバル		
指定年月日	文書番号	指定番号 又は 新型自動車番号	型　式
平成４年２月３日	自審第３９号	７０６６	E－KK3
		７０６７	E－KK4
平成5年1月18日	自審第１４５４号	７２６１	E－KY3

文書番号					
	４自整第２７３号	5自審第１４５４号			

注　記　：　別紙記載の点検整備内容以外は、４自整第２７３号と同じ。

1)運行前点検項目の判定基準は自動車使用者に周知徹底を図る。
2)「●」印は法規で義務付けられた点検時期を示し、「○」印はその外メーカーで推奨することを示す。
3)「×」印は該当しないことを示す。
4)「☆」印は保安部品の定期交換を示す。その交換時期は一般走行する不特定多数の車を対象に定めてある。
　従って著しく走行条件の異なるものは、これに準拠して交換する。
5)「※」印は初期点検のみを示す。（※１は初期１か月時、※５は初期６か月又は５０００km時点検を示す。）
6)「〔　〕」内は第１回目の交換時期を示す。
7)アンダラインは追加項目を示す。

点検整備方式—E－KY3

点検整備項目			点検整備時期 運行前	自家用 6か月毎	自家用 12か月毎	自家用 24か月毎	事業用 1か月毎	事業用 3か月毎	事業用 12か月毎	単位 千km	判定基準	備考
かじ取り装置	ハンドル	遊び、緩み及びがた			●	●		●	●	※1	遊びは直進状態にてホイール外周で マニアル：　0 ～ 25㎜ パワステ：（油圧作動時）　0 ～ 25㎜	
		操作具合			●	●		●	●	※1		
	ギヤ・ボックス	油漏れ				●		●	●			
		取付けの緩み				●		●	●			
		軸受部のがた							●			
		ギヤのバックラッシュ							●			×
	ロッド・アーム及び類	緩み、がた及び損傷			●	●		●	●			
		ボール・ジョイントのダスト・ブーツの亀裂及び損傷			●	●		●	●			
		連結部の摩耗及び取付状態							●			
		ナックル・アームの亀裂及びナックルとの取付状態							●			
	ナックル	連結部のがた				●		●	●			
		ナックルとフロント・アクスルとのすき間							●			×
	かじ取り車輪	ホイール・アライメント				●			●		トーイン　－3 ～ 3 ㎜ キャンバ　FF車　30′ ±45′ (20′ ±45′) [15′ ±45′]　< 5′ ±45′ > キャスタ　3° 10′ ± 1° {3° 20′ ± 1°}	( )内はE-KK3・E-KK4型のスーパチャージャ車を示す。 [ ]内はE-KY3型のスーパチャージャ車を示す。 { }内はE-KY3型を示す。
		左右の回転角度				●			●		内側　FF車　38° 55′ ± 1° 30′ [38° 30′ ± 1° 30′] (34° 50′ ± 1° 30′) <34° 25′ ± 1° 30′ > 外側　FF車　33° 05′ ± 1° 30′ [32° 50′ ± 1° 30′] (30° 25′ ± 1° 30′) <30° 10′ ± 1° 30′ >	[ ]内はE-KY3型のスーパチャージャ車を示す。 ( )内はE-KK3・E-KK4型のスーパチャージャ車を示す。
	パワーステアリング装置	ベルトの緩み及び損傷		●	●	●	●	●	●	※1 ※5	ベルトテンショナボルトの座面を合わせる	
		油漏れ及び油量			●	●	●	●	●	※1	レベルゲージの上限～下限ラインの間にあること	
		取付けの緩み				●		●	●			インテグラル式
制動装置	ブレーキ・ペダル	遊び及び踏み込んだときの床板とのすき間		●	●	●	●	●	●	※1 ※5	(1) 遊び　1 ～ 3 mm (2) 踏力約30kgで踏込時 床面とのすき間65mm以上	
		踏みしろ及びきき具合	●									
		ブレーキのきき具合		●	●	●	●	●	●	※5	制動力 後輪和　軸重の20%以上 各輪左右差　軸重の 8%以下 総和　検査時車両重量の50%以上 注）前軸の全ての車輪がロックし、計測困難な場合は、その状態で総和に対し適合するとみなす	
	駐車ブレーキ・レバー	引きしろ	●	●	●	●	●	●	●	※1 ※5	操作力　20 kgのとき 引きしろ　3 ～ 5 ノッチ 全ストローク　17 ノッチ	
		ブレーキのきき具合			●	●	●	●	●		制動力　検査時車両重量の20%以上 操作力　50kg以下	
		ラチェット部の摩耗及び損傷							●			

注　アンダーラインは追加項目を示す。

点検整備方式——E－KY3

点検整備項目			点検整備時期								判定基準	備考
			運行前	自家用 6か月毎	自家用 12か月毎	自家用 24か月毎	事業用 1か月毎	事業用 3か月毎	事業用等 12か月毎	単位千(km)		
制動装置	ケーブル及び類	緩み、がた及び損傷				●		●	●			
	パイプ及びホース及び	漏れ、損傷及び取付状態		●	●	●	●	●	●	※1 ※5		
	リザーバ・タンク	液量	●	●	●	●	●	●	●	※1 ※5	液面レベル MAX～MINラインの間にあること	
	マスタ・シリンダ及びディスク・キャリパ、ホイール・シリンダ	ホイール・シリンダ及びディスク・キャリパの液漏れ			●	●						
		機能、摩耗及び損傷				●			●			
	倍力装置	機能				●						
		油密及び気密							●			
	ブレーキ・ドラム及びブレーキ・シュー	ドラムとライニングとのすき間			●	●	●	●	●			×
		シューの摺動部分及びライニングの摩耗			●	●		●	●		標準厚さ 3.9 mm 仕様限度 1.7 mm	
		ドラムの摩耗及び損傷				●			●		標準径 180.0 mm 使用限度 182.0 mm	
	バックプレート	バック・プレートの状態							●			
	ディスクブレーキ・ディスク及びパッド	ディスクとパッドとのすき間			●	●		●	●			×
		パッドの摩耗			●	●		●	●		標準厚さ 9.0 mm 使用限度 1.5 mm	
		ディスクの摩耗及び損傷				●			●		ソリッド：標準厚さ 9.0mm／使用限度 7.5mm	
走行装置	フロントアクスル	損傷及び変形							●			×
	リヤ・ハウジング・アクスル	損傷及び変形							●			×
	ホイール	タイヤの空気圧	●	●	●	●	●	●	●	※5	(単位：kg／cm²) タイヤ仕様／前輪／後輪 135SR12：2.0 (2.1) 155／70R12 73S：2.0 145／70R12 69S：2.1 T105／90D12：4.2 T105／70D14：4.2	( ) 内はE－KK4型及びE－KY3型を示す。

注. アンダーラインは追加項目を示す。

MEMO

MEMO

Ⓗ－2,800－74

１９９３年５月　発行　　１版

禁複製・転載

――実費1,100円――

（消費税は含まれておりません）

編集・発行　富士重工業株式会社

東京都新宿区西新宿一丁目７番２号

問い合わせ先：国内営業本部国内サービス部

サービス教育課

富士重工業株式会社

U5251A